

Track:10月4日、17時頃の盗聴記録

………えっ？ ああ、なあんた、咲彦か。

ん？ 練習？ 別に、いいでしょ、すこしくらい休んでも。

…そんなことよりさあ、あたしが今聴いてるこれ、このバンドの新譜、咲彦はもう聴いた？

……いや、これがもう最高なの。

一曲目の出だしから、リズム・ギターがものすごい轟音で入ってくる。

…昔からずっとこの音なんだあ。

2年ぶりのフル・アルバムって言うからさあ、どんなもんだろって思って聴いたら…
開幕からこれなの、本当に、信頼できるバンドだと思うない？

……あ、咲彦はまだ聴いてないんだ。

…これ、よかったら貸すよ。あたしはもう覚えるくらい聴いちゃったからね。

…ふふ、咲彦の感想聴くの、楽しみ。

……それで、そんなに張り切って練習、練習って、いったいどうしたのお。

いや、別に練習するのはいっこうに構わないんだよ？

あたし、練習好きだし。でも、咲彦が練習したがるって、どういう了見なの？

…え？ ああ、なるほど、文化祭。

すっかり忘れてたな。

……それで、うちはなに演んの？ ……なに、そのすつとぼけた顔。

曲目だよお、曲目。うちの曲目、もう決めてんの？

…あ、決めてないの。じゃあ、あたしが決めてもいい？

…マイナーな曲なんて選ばないよ、文化祭だし。

大丈夫、あたしに任せな。

…ってことで、今年のうちの曲目は……なんとあたしのオリジナル曲に決定だ！
……咲彦、何その顔。もっと喜んでいいんだよ？ は？ マイナーな曲はだめ？
なに言ってるの。オリジナル曲にメジャーもマイナーもないでしょ。

…ああ、大丈夫。咲彦の出番は用意しとくよ。
どうせいいかつこ見せつきたい女子でもいたり…

ふふ、怒んなってえ。咲彦はわかりやすいんだから。

…ん？ 曲？ もう出来てるよ。

…なんて顔してんの。私の曲じゃ不満？

…じゃあさあ、今日の夜、メールでデモ音源送るから、それで決めよ？ な？

…よし、決まり！ 男に二言は無いからね、咲彦っ！

……ん、そうだね、じゃ、いい加減練習でもするか。

あれ、もうこんな時間。随分長い間、音楽聴いてたんだね、あたし。

…じゃ、続きは明日だな。

言っとくけど、明日からは絶対、あたしの曲を練習することになるよ。絶対ね！

…じゃね、咲彦。また明日。

……ん？ どうしたの？ そんな、縮こまっちゃって。

…え？ 何言ってるの？ 咲彦とあたし、帰る方向全然逆じゃないの。

それに、言った事あるかもしれないけど…

あたしんとは、家庭派の叔父さんが、毎日料理用意して待ってるからね。

すぐ帰んなきゃいけないんだ。

だから、悪いけど一緒に帰るとか、余りゆつくりはできなくて…

料理冷めちゃったら悪いしさ…。

……そうだな、今度学校が昼で終わったりとか、暇なときにでも寄り道して帰ろうや。ね？

…どうしたんだよお、そんなにくたびれた顔して。

あ！ 目の下にクマあるよ、咲彦！ さては寝不足だね？

叔父さんが作る安眠スープでも分けてやりたいもんだな。

…あ、その顔は疑ってるなあ！ いや、侮れないよ？ 安眠スープ、マジで効くからね！

叔父さんの料理食べるようになってから…

毎日、コロッと気づかないうちに眠っちゃってるくらいだし。

だから、咲彦も叔父さんにスープを振る舞ってもらえばいい。

……んま、今日はとりあえずあたし帰るね。…ちゃんと寝なよ？ 咲彦。
…ばいばい。

Track:2 10月4日、夜

すー、すー、んー…すー、すー、すー、すー、すー

すー、すー、くー、くー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー…ん…ん…ん…すー、すー、すー、すー、すー、すー

んー…？ すー、すー、すー、すー…すー、すー、すー、すー

すー、すー、ん？ ん…すー、すー、うー…すー、すー、すー

ん…ん、ふぁ…ぁ…すー、すー、すー、すー…ふー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー…くぁ…ぁ…んっ…は、ぁ…ふっ…

ふう…んっ、は…くっ、はっ…ぁ…すー、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー…すー

…すー、すー、すー、ん…もう、なぁに、すんのお…んー…すー、すー…

すー、すー、すー、すー、すー

…っ…ぁっ！？ あっ、くお…んっ…！

ん…はっ…ぁ…やっ…んお…ぁ…ぁ、…く…ふうー、ふっ…く…

はっ…ぁ…ふう…ふう…んお…ふう…ふー、すー、すー、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー、すー…く…ん…ん、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー…ん、すー、すー、すー、すー

んー、ふー、ふっ…ぁ、ぁ…んお…うお…お…おお…ほっ…ふっ…

くぁ…ん…んぁ…ふお…お…うお…お…は…はう…んー…ん…

ふぁ…ぁう…くっ…お…おお…んー…はっ…くう、く、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー…すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー

すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー…すー、

んん…んおっ…お、お、おおお…ふお…ぁっ、く…ぁ…ぁ…ふっ、ほっ…

んぁ…お…おお…んおっ、ぁっ、くぁっ…お…お、んおっ…お、ほっ…ふぁ…

ぁ…んー……すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、

Track:3 10月11日、17時頃の盗聴記録

……あたし、雨って嫌いなんだよね。はじめするからさあ。
でも、実は『はじめする』ってところ以外は、余り嫌いなどころはないの。
ほら、こうやって、雨の音聴いてると、なんか落ち着く感じ…。

……人間が楽器弾いたりして音を出そうとすると、出す音を間違えることがあるでしょ？
咲彦もよく押さえ間違えるよね。

ハイポジションのAとD、よく間違えてるよ。

2弦と3弦の区別くらいいつだってつきそうもんだけどさあ…
人間ってやっぱり間違えるよね。

でも、雨は音を決して間違えないんだ。ほら、よく聴いてみ。

絶対に、そこにあるべき音を出しているんだよ。

……うーん…咲彦にはわかんないかなあ？ ま、いいや。感覚なんて人それぞれだし。
何にしても、あたし、雨って結構好きな所があるの。

…それで、どう？ そのウッドベース、ちゃんと弾ける？

……お、よかった。

音楽準備室にね、ずっと使われてないぼいのがひとつだけあったから…

吹部の先生に言っ借りてきたの。普通に使えるか不安だったけど、大丈夫そうだね。

…それにしても、いつもロックしか弾かない咲彦が、
本当にこの曲のベースを弾いてくれる気になるとはね。

…え？ いや、確かにあたしもいつもはロックばかりなんだけど、
今回はちょっと気分転換ってか……で、どうかな、ベースラインそんな感じでいけそう？
…お、その返事を待ってた…これくらい弾いてもらえなきゃ、困るからね！

なにせ、咲彦があたしの曲を演ってくれる気になったてんだから、
こっちも愛情こめてベース譜書いたわけよ。

伝わったかね？ あたしの愛情！

…そう？ ならよかった。へへ。

…しっかしなんなのその顔は、咲彦。

まさか、このあたしに練習しろとかいうんじゃないだろうね！？

…あー、済まないけど今日は無理…

雨の日はどう頑張ってもそういうストイックな事は出来ないんだ…あたしは…。
まあ今日はこの雨に免じて、許しておくれよ。あたしと一緒に音楽の話でもしよ。な？

…そうだ。咲彦、この前貸したCD聞いた？ …お、聞いたのね。…で、どうだった！？

…っは、咲彦のコメントは、いつもながら中々渋いねえ。

いや、ここでレコーディングエンジニアの名前が出てくるのはマジ渋いつて。

普通の人は全然気にならないよそんな事。勿論あたしも、全然気にならないし。

…でも、良い音であることは確かだな。咲彦、やっぱいいセンスしてるよ！

…それで？ 曲の方はどうだったの？ …あ、待って！ あたしの予想…

やっぱり、ベーシスト的には最後から二番目の曲に惹かれたんじゃないかな？
と思うんだけど…。

…あ、やっぱり！ なあ咲彦、あれ弾いてくれよ。

あのタイミングで入ってくるグリッサンドが聴きてえんだあたしは…なあ、頼むからさあ。

…えー…咲彦のけちんぼ！ 別にいいじゃんグリスのひとつやふたつ、
指が擦り切れて血だまりになるわけでもあるまいし！

…まあいいか。咲彦が弾く気になったらその時は、真っ先に聴かしてね。
ふふ、楽しみ。

…あ、チャイム。もう帰んなきゃね。

明日は晴れるといいな、そしたら、めいっぱい練習ができる。

…じゃ、あたしはもう行くよ。今日も叔父さんが料理を用意して待ってる。
ほんとに家庭派なんだよねえ。昨晚はオムライスに…スープだったか…。

…いや、実際不思議ではあるんだよなあ。

叔父さんって…うーん…

言っちゃ悪いかもしれないけど、

性格的にも、外見的にも、あまり家庭派あ！ って感じじゃないんだけど……。
…ま、いいや。じゃね咲彦、また明日。

…あ、あのお、咲彦…？

あたしの言いたいこと、わかるかなあ…

実は、今気づいたんだけど、傘、家に忘れちゃったみたいでさあ…。

いや、咲彦がまったく別方向の駅から帰ることは重々承知の上なんだけど、

あたしはどうしてもこのギターを濡らすわけにはいかないんだ…！

と、いうことで、咲彦、よかったら駅まで一緒に傘入れてくんない？

…って、え？ 傘、入れてくれるの？

あ、ありがとう咲彦！ この恩は絶対に忘れないよ！

…よし、じゃ、行こおか！

Track:4 10月11日、18時頃の盗聴記録

………な、なんか、あれだね？ これって、よく考えたら、相合傘ってやつじゃんね。
…ごめんね咲彦、これ、見られたら誤解されちゃうやつ、だよね…
ちよっとあたし、考えが至らんかった…。

しかしあれだね。なんか、いつもより閑散としてる気がするね。

…ほら、いつもならこの時間のこの道なんて、うちの高校の生徒でゴった返してんじゃん？
だから、みんなやる気が出なくて先に帰っちゃったのか？ 雨

ま、どうでもいいけど…なんにせよ、相合傘を見られる心配はなさそうだよ、咲彦。

………咲彦？ 聴いてる？

…はあ、まったくもう、すっかりしなよ。

………ね、咲彦。

………さつきからずっと私に、なにか隠してるでしょ。知らない仲じゃないからね。
様子がおかしいのくらい、すぐにわかるんだよ。…表情もずっとおかしいし。

………もー、咲彦はいつもそうやってはぐらかすんだから！

たまにはびしっと言ったらどうなのさ！

…な？ 言ってみなよ。…言いにくい事？

いいさいいさ、まわりに、聴いてる人もいないんだから。

…え？ なんて？ よく聴こえなかったよ？ もう一回。

………え？

…っつ、ちよつと、何言ってるの咲彦！ は？ なに？ 咲彦は、あたしの、こ、と、が………え？

なんて？ ちよつとわけわかんなくない？

………え？ 咲彦、あたしの聴き間違え？

…聴き間違えじゃない。……ちよ、ま、まあじか咲彦。

ちよ、えと、あの…あ、あ！

ほら、咲彦、あれ！ よく見たらもう、駅すぐそこだった！

ていうか、あれ、あそこに停まってるの叔父さんの車だよ！

しかもあそこで手を振ってる人、あの人があたしの叔父さんね！

あ、雨だから、駅まで迎えに来てくれたのかな！？

……ん、んじゃ、私行くわ！ ま、また明日な咲彦！

あ、傘入れてくれて、あ、ありがとな！

Track:5 10月11日、夜

……あー

……もっ……お

……ふほっ……も……ほ……んぶ……ほっ……ほふっ……むお……ほふはあ……
むごお……ふほう……も……ほっ……むぐ……ふおはあ……ふほお……
ほあ……むう……ふおほ……ほはあ……ふほ……ふほおー、ふほおー……

ふおほ……むっぷお……んぐ……むおご……ふおほ……
ひゅほ……ふお……んぷお……ん……んふお……ふおは……
くうお……ふおはほ……ほおー、ふお……ん……ぐおあ……ぐ

おを、をえっ……っあ……ふうー……

すー、すー、すー、すー、すー、んうー、すー、すー、すー、すー
すー、すー、すー、すー、んー……すー、すー、すー、すー……
すー、すー、すー、すー、すー、あー……

……むぐお……んぐ

……ふお……んー……ふほ……ふほはあ……むぐお……ん……ふほ……むっぷお……お……
ふほう……ふほおー……ふほお……んぐ……んぷお……ふお……ふほは……んぐ……
むう……ふお……ほおー、ほおー、はー、むっぷお、ん……んふおは

んうー……ふー、ふー、ふー、ふー、ふー、ふー、ふー、ふー、ふー
ふー、ふー、ふー、ふー、ふー、ふー……んう……ふー、ふー、ふー
ん……ほはあ……むぐ……ふほおー……ん……んふお……ほ……ほふあ……ほうあ……

むぶお……ん……ふお……ほおー、ほおー……ほおー、ほおー……
ひゅほ……ふお……んくお……ほふは……はほ……んう……ん……
……んお……ふお……ふお……ほは……ふおあ……あっ……ぐ……ぐほ……

くおほ……はっ……ほ……ひゅほ……ひゅご……うお……むうお……ふおは
は……ぐう、ほはあ……はうほ……ほおあ……むん……くあ

……くうー……すー、すー、すー、すー、すー、すー、んくう……うー、うー

すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー、すー……

Track:6 10月12日、17時頃の盗聴記録

……わつ。いい風。ほら、窓際まで来てみな。いい風吹いてるよ、咲彦。

……うーん、涼しいね……あたし、秋って大好きなんだ。

夏はさ、ほら、暑すぎてダメでしょ。それで、冬は寒すぎるからダメ……

春は、出逢いと別れたの鬱陶しいから無し。

つまり残るのが秋ってわけ。ほんと、完璧な季節だな。

……あたしはね、秋になったら他の季節より少しだけ早めに学校に来るんだ。

それで、みんなのいない教室になったら、まずお手洗いに行って、

水道の水をいっぱい手に浴びる。……秋の早朝の水道の水はね、

なにも代えがたい気持ちよさがあるの……

冷たくて、でも、冷たすぎなくて……そうだな。

エフェクター通さず、アンプからじかで出す轟音みたいな快さがあるの。……わかる？

……どうしたの咲彦？ こっちおいでよ。そんな、仏頂面して。ほら、おいでおいで。

……う、うえ？

昨日の……こと？ あつ……さ、さあ……昨日って何かあったつけ。私余り覚えてなくて……

……と、ところでさあ咲彦！ 今日の数学の小テスト、めちゃくちゃ難しくなかった？ あれあかんかったわあ……ただでさえ数学が苦手なあたしには、手に負えませんでした……咲彦は何点だった？

……え？ あたし？ ん……じゃあ、いつせーので言わない？ ……うん、よしきた！

……じゃ、いくよ……いつ、せーの……32点！

……え！？ 咲彦、それマジで言ってるの？ ふわあ……そんな点数どうしたらとれんの！ いや、馬鹿にしてるわけじゃなくて……本気で気になって。……ねえ咲彦お、咲彦ってば

……あれ？ 松永先生。

……咲彦に用みたいだよ。……あ！ 小テストのことで、話あるんじゃない？

……頑張れよ、咲彦！ ここが人生の墓場じゃないんだ！

……ふう……いや、どんな顔して話せばいいんだよ！ わけわかんないし！

……咲彦も咲彦だあ……ずっと俯いて、目も合わせてくれない……

……はあく……あたしは咲彦のこと、どう思ってるんだろう…。

……あたしは、咲彦のこと、好き、なのかな……

咲彦のこと考えると、胸がぽってなることが……時々ある、気がする…。

……うん、だめだめ！ 一週間後文化祭なんだよ？ 結論出すのはライブの後でいいや！
よし決めた！ とりあえず練習しよ！

……うゝあ、咲彦！！ ……は、早かったね？ 結局、なんだったの？

……あく、そのプリントの束、渡されたんだね。なんというか、ドンマイ…。

……まあいいや、とりあえず練習しよ咲彦！

……うん！ このまま一週間突っ切るぞー！ おー！

Track:7 10月19日、16時頃の盗聴記録

……なあ咲彦、今日のライブ、ほんとに良かったよ。盛り上がったしき。な、あたしを信じてついてきた甲斐があったってもんでしょ？

……うあ、あたし、さ…それで、今日の咲彦の演奏聴いてて思ったんだ。…そう、めちゃくちゃ楽しくてさ。あたしたち、音楽やってさ…ずっとこうしていたいって思った…。

……ねえ、あたし、咲彦が好き…。

…うわ！ びっくりした！ なに、驚きすぎでしょ！

……でも、返事遅れてごめんね。あたし、自分でもわかんなくてさ、咲彦のこと…でも、今日のライブでよくわかった…あたし、咲彦が……って、うわ！

……んっ、ちょ、やめな！

そういう強引なのは無しで…。…なに？ あたしのファーストキスが欲しかったの？

……ふふ、咲彦って意外と嫉妬深いんだ。

…でも大丈夫。あたしは今まで誰とも付き合ったことないし、もちろんキスもしたことない。あたしのファーストキスが奪えるかは、これからの咲彦しだいって事だな。

……大丈夫、人間ってのはその時がくれば自然にキスするもんさ。

……多分な。あたしも、まだよくわかんないけど…。

…ま、あたしも嬉しいよ。

……ふふ。これからが楽しみ。

Track:9 12月15日、17時頃の盗聴記録

……って感じなんだけど、新曲。どう思う？ 咲彦？

……いい感じ？ ふふ、やったね。

……っはあ、疲れた……よししょっと……なんかギター重……。

……っふう……なあにか最近お腹出てきちゃってね……すぐ疲れるんだ……
って、乙女になんてこと言わせてんや！

……ん、まあ、咲彦のせいじゃないけどさ……

なんだろう、別にたくさん間食したりしてるわけでもないんだけどな……
はっ、最近毎日幸せ過ぎて、それで太ってきたとか……！？

……ごめん、今のはあたしもさすがに恥ずかしかった。

……あゝ！ れ、練習再開しよっか、咲彦。

……うん、さっきの曲のベース教えるから、弾いてみて！

……ふふ、合わせるの楽しみだ！

Track:EX NG テーク集

＼のテーク集だよ。このコーナーでは、ちょっとあたしとか咲彦…いや、主にあたし、の＼のテークを纏めてます。まあ、とりあえず聴いてみよっか。……あたしも気乗りは…しないんだけど…。……んま、いっか。では…アクション！

その1、オタクなふたり

…そうだ。咲彦、この前貸したCD聴いた？ …お、聴いたのね。…で、どうだった！？
…っは、咲彦のコメントはいつもながら中々シブいねえ。うん、もう、マジシブシブよ。
そうだよねエ、あのバンドはいいんだけどさ、プロデューサーが最悪よ。エッ、わかる？
やっぱ咲彦はやるねえ！ あんなどころで変なキーボードの音入れないでいいってね。
妙にハイファイすぎるしさ、ジョー○・マー○インにでもなったつもりかよ、まったく。
ファーストとか最高だったんだけどな…えっ？ やっぱりそうだよね！
はあ…もう、シブシブよ。シブすぎるっての。オケに対してボーカルがデカすぎんの。
連中、オルタナのオの字も知らないって絶対。

ニル○アーナとナン○ガくらい聴きやがってたんだ、軽薄なやつらだよ……

そんでき、あのCDは聴いた？

そうそう、あのジャケットがダサイやつ。あれはさあ……

その2、猫注意

……ね、咲彦。

……さっきからずっと私に、なにか隠してるでしょ。知らない仲じゃないからね。
様子がおかしいのくらい、すぐにわかるんだよ。

…え？ んえ…あ！ 聴き逃さなかったよ！

鞆！ 鞆からなんか聞こえたねっ？

ちよい失礼。

あゝ猫さん！

おーおー、かわいいねかわいいね。

ああああ！ごめんね、軽率だったね！

こら！ 咲彦！ こんなところに猫さん閉じ込めたらダメだろ！ おばか！
は？ 捨てられてた？ 猫さんは在るべき所に在るべくして在るだけです

猫さんは繊細なのです！ その所作の一つ、揺れる毛並みさえも、自分の命より尊いと思うべきだよ！

ああ〜はは。馴染んできたああはは。猫さんの体毛と同化しそうえっへへ。

はあ…はあ…はあ…ふー

咲彦！…この猫さんのことは、私にまかせて。
じゃ！

……はい、これが、Zのテーク集……。

…ふう〜…いや、ごめんね、妙なものを聴かせちゃって。

…え、なに？ 咲彦。あの猫？ ああもう、猫ちゃんなら超元気よ。

叔父さんもね、なんだかんだで動物好きらしくて、毎日餌買ってきてくれんの。

そういや、叔父さんが用意したご飯を食べると猫ちゃんもぐっすり寝ちゃうんだよね……。猫にも通用する、恐るべし叔父さんの安眠ご飯、だね！

…ともあれ、Zのテーク集はここまでです！

…ほら、咲彦！ 行くよ……なにぼさっとしてんの